

2026 10/27

No.2269

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



伊勢原の秋の風物詩「大山阿夫利神社火祭薪能」が同神社能楽殿（伊勢原市大山）で行われ、訪れた人たちは人間国宝の山本東次郎さんら能楽師の至芸に酔いしれた。



視点点描	
気まぐれ天気にも左右	3

特集	
人手不足の会社ほど生成AIが効く	4

経済双眼鏡	
米財務長官の「胴元」宣言とツイスト	8

直線・曲線・斜め線	
AIヨチヨチ旅日記	9

言葉をことばで考える	
ひらがなでいいと思う	10

管理職はつらいよ！	
諫める勇気と聞き入れる度量	11

くらし2026	
指導不足もハラスメント？	12
意欲低下や退職リスク	
コミュニケーション不足も	

神奈川景気データファイル	
	14

事務局だより

◇2026年11月定例講演会
11月19日(木) 午後1時30分～3時
神奈川県民共済13階大会議室
(桜木町駅近く)
講師：料亭田中家5代目女将
平塚 あけみ氏

◇2026年12月定例講演会
(シンポジウム・会員交流会)
12月21日(月) 午前11時～午後
1時30分
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
パネリスト：共同通信政治部長、
経済部長、外信部長
演題：2027年の動向を読む

◇2027年1月定例講演会
1月15日(金) 午後1時30分～
3時
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：参議院議員
三原 じゅん子氏

【お知らせ】会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局☎045(226)2121。

視点 点描



気まぐれ天気にも左右

天気は気まぐれだ。日々の予報通りに晴れたり、雨が降ったりするとに限らない。中長期的な天候の見通しであればなおさらだ。

酷暑日（最高気温40度以上）の運用が始まった今夏、多くの人が警戒したのは危険な暑さだったのではないか。

だが神奈川県内では、梅雨明け直後に海老名市などで猛暑日（同

35度以上）が続いたものの、同市で観測史上最高の39・9度を記録した昨夏のような暑さにはならなかった。

それどころか8月は天候不順で真夏日（同30度以上）に達しない日も多く、その後は記録的な日照不足に。9月の日照時間は平年の4割前後にとどまり、平均気温も平年を下回った。

この間、相次いで発生したのが台風だ。

9月のシルバーウィークに接近した台風25号は県東部に記録的な大雨をもたらし、三浦半島で土砂災害が多発した。三浦市では24時間雨量が観測史上最多の308^ミを記録し、2日間の総雨量は350^ミを超えた。一方、雨量がさむと予想されていた県西部は発達した雨雲があまりかからず、箱根町では2日間の雨量が200^ミを下回った。

こうした雨量の観測データを見て思い出すのは、2019年10月の台風19号（東日本台風）だ。多摩川上流で記録的な大雨となり、武蔵小杉駅（川崎市中原区）周辺が広範囲に浸水。地下に入り込んだ水で停電や断水が続いたタワーマンションのことを覚えている人は少なくないだろう。

この台風の際、箱根で観測され

た24時間雨量は全国最多の942・5^ミ。今年の台風25号の際に三浦で記録された24時間雨量の3倍に相当する。当時、雨具を着て外に出ていた男性は「下着まですぶぬれになった」という。

しかし、箱根では犠牲者は出なかった。紙一重で一命を取り留めた土砂災害の現場もあったが、現地調査に入った専門家は「箱根は雨に強い」と驚いていた。

気候変動を背景に豪雨災害の激化が懸念されるが、雨と被害の関係は複雑だ。台風の進路、海上から流れ込む水蒸気量、そして地域特性。8月の千葉豪雨のように台風以外の大雨で甚大な被害が出ることもあり、同じ地域が繰り返し被災することもある。気まぐれな天気にも命と暮らしを左右される厳しい時代に入った。

（神奈川県新聞社地域共創本部
県西統括兼論説委員・渡辺 渉）